

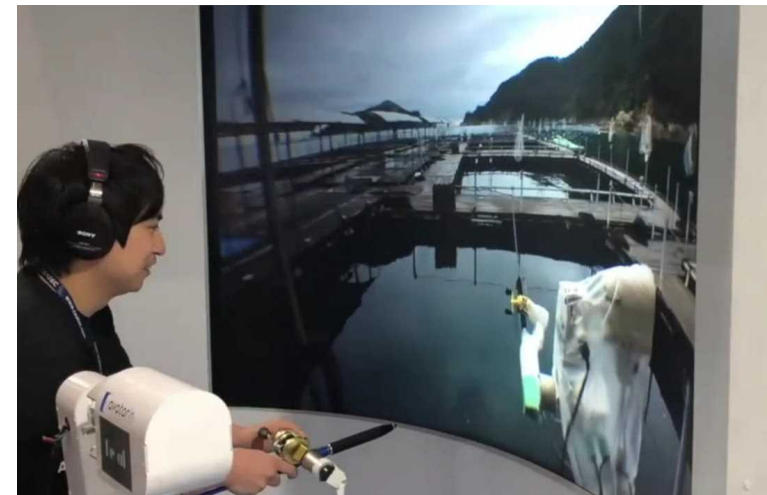
## AVATAR FISHING (アバター技術を活用した世界初の遠隔釣り体験サービス実現プロジェクト)

- 県内には温泉以外にもじゅうや豊後水道などの自然、歴史的建造物など豊かな観光資源があるが、観光客が訪れる地域は温泉のある別府市と由布市に集中しており、県南部（津久見市、佐伯市等）をはじめとするその他の地域にいかに関遊させるかは県観光の課題の一つである。また、多くの観光施設では、土日と比べて、平日の稼働率が低調であり、生産性を上げることのできない一因となっている。
- 本プロジェクトでは、県南観光の資源である、「海・魚」に着目し、佐伯市蒲江の釣り堀「釣っちゃ王」において、釣り竿をもった遠隔操作ロボットを設置し、力触覚（ハプティクス）技術や高速通信技術を用いて、遠く離れた東京から釣りを疑似体験できるシステムを開発、実証することにより、大分県の温泉以外の魅力を発信するとともに、観光施設の稼働率の平準化を図る。
- 2019年度、東京－大分間の遠隔での釣りの実証に成功。今後は、遠隔釣り体験サービスを次年度本格的にサービス導入するための機器のブラッシュアップを行う予定。

### プロジェクトイメージ



実際の体験の様子 (CEATEC2019展示)



事業実施主体  
(コンソーシアム構成員)

(株) ケイティーエス (杵築市)、(株) Re-a l (神奈川県)、(株) ナゴヤ (佐伯市)、  
ANAホールディングス (株) (東京都)、(株) シマノ (大阪府)